

- 確率変数  $X^2$  について

$X$  を確率変数とすると,  $X$  の各値  $x_i$  ( $i = 1, 2, \dots, n$ ) を 2 乗することによって定められる  $X^2$  も確率変数になる. この場合,  $X^2$  の期待値は  $E(X^2) = \sum_{k=1}^n x_k^2 p_k$  となる.

- 期待値と分散の間に成り立つ公式

$m = E(X)$ ,  $\sum_{k=1}^n p_k = 1$  であることに注意すると, 次の式が得られる.

$$\begin{aligned} V(X) &= \sum_{k=1}^n (x_k - m)^2 p_k \\ &= \sum_{k=1}^n (x_k^2 - 2mx_k + m^2) p_k \\ &= \sum_{k=1}^n x_k^2 p_k - 2m \sum_{k=1}^n x_k p_k + m^2 \sum_{k=1}^n p_k \\ &= E(X^2) - 2E(X) \cdot E(X) + \{E(X)\}^2 = E(X^2) - \{E(X)\}^2 \end{aligned}$$

point～期待値と分散の公式～

$$V(X) = E(X^2) - \{E(X)\}^2$$

確率変数  $X^2$  について

$X$	$x_1$	$x_2$	$\dots\dots$	$x_n$	計
$X^2$	$x_1^2$	$x_2^2$	$\dots\dots$	$x_n^2$	
$P$	$p_1$	$p_2$	$\dots\dots$	$p_n$	1

図 1 itemize 内

$X$  を確率変数とすると,  $X$  の各値  $x_i$  ( $i = 1, 2, \dots, n$ ) を 2 乗することによって定められる  $X^2$  も確率変数になる. この場合,  $X^2$  の期待値は  $E(X^2) = \sum_{k=1}^n x_k^2 p_k$  となる.

$X$	$x_1$	$x_2$	$\dots\dots$	$x_n$	計
$X^2$	$x_1^2$	$x_2^2$	$\dots\dots$	$x_n^2$	
$P$	$p_1$	$p_2$	$\dots\dots$	$p_n$	1

図 2 itemize 外